

このパンフレットは
「公益社団法人全国上下水道コンサルタント協会中部支部」の
設立20周年記念事業の一環として制作したものです。
全国上下水道コンサルタント協会は、
快適な生活と地域の水循環を守るために、
水道、下水道に関する技術の向上を図り、
調査、研究を行っている協会です。



水の妖精 エアリス

発行: 公益社団法人全国上下水道コンサルタント協会
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5丁目26番8号スズヨシビル7階
TEL (03) 6806-5751 <https://www.suikon.or.jp>

企画制作: 公益社団法人全国上下水道コンサルタント協会中部支部
制作協力: (株)オルタナティブコミュニケーションズ

私たちは地球環境問題を考慮し、資源のリサイクルと環境保全に努めています。



協会ホームページ



エアリスとの出会い



ヨシトのやつ、
またヘンなこと言ってるよ。

またかよ!?

クスクス

アハハ

また、みんな笑うんだ。
けど、僕は信じてる。

エアリスは生きている。
いつかきっと会えるって。

…僕の話、信じる?
…信じないよなあ。



去年の夏だっけ…。お天気のいい朝だった。
歯を磨きながら庭を見てたら、
ピカッと光るものを見つけたんだ。水玉だった。
葉っぱの上で小さな水玉が朝日に照らされ光ってた。
近づいてみると、赤、青、黄色、緑…七色に輝いている…。

「へえ、水って、小さいと玉になるんだ!」

僕はちょっと感動して、歯を磨くのも忘れて、水のこと、考えはじめた。
この水滴も水なら、海にたまってるのは水だ。
川を流れたり、湯気になって蒸発したり、雪や氷になって固まったり。
霧や雲も水だって学校で習った。

…ええ、なんでだあ?

…なんかメチャメチャ不思議な気分になってきた。
飲んだりもするし、クツを洗ったり、トイレでも水を使う…

あ、そういえば、人間の身体の半分以上は
水でできてるって先生も言ってたっけ。

…いったい、水ってなんなんだ!?

…その時だよ。いきなりその七色の光の中から、
妖精みたいな女の子があらわれたんだ。



あわわ!…だ、だれだ。お前!

お前なんていうな!
わたし、**エアリス**。

え、えあります!?

…キミは?

…お、お前、オバケか? ①

オバケ!?…失礼ねっ。
こんなかわいいオバケいる?…キミの名は?

…。

た、又、エッ!

ヨ、ヨ、ヨ…ヨシト。

あら、腰が抜けたみたい。
カワイーイ! あははははは…。



それからが大変!!

エアリスは家のなかであち行ったり、こっち行ったり、すぐにいなくなる。
笑ってたかと思うと急に怒りだしたり。…ホントに生意気でウルサイ妖精だった。
…いいよ、信じなくて。僕も夢だったんじゃないかなって時々思う。
だから、みんなに聞きたいんだよ。この話を読んで、
エアリスって妖精がホントに生きてるのかどうなのか…。

それとも、ただの夢だったのか…。

あ、そういえば、お父さんが、僕にこんなこと言ってくれた。

「妖精なんかいない」と、誰かがいうたびに、
どこかで小さな妖精がひとり死んでいく
～ジェームズ・M・バリ～

ピーターパンの作者の言葉なんだったさ…



エアリス

おしゃべり好きな水の妖精!
動物や植物の友達が
いっぱいいるんだって!



ヨシト

僕は勉強が苦手な5年生。
でも、女の子には人気があるよ!
「やさしいから」だってさ。



第二話

世界一周エアリスの旅



ビュー



グルグル



コラッ

フッ!

- ヨシト! 水はすぐに止める!
- な、なんだよ、急に。別にいいじゃん。
- なに 何いってるの! もったいないでしょ!
- なん 何で? 何で水がもったいないんだ?



地球上の水=バケツ1杯

▼ そのうち

淡水=コップ1杯

▼ そのうち

私たちが使える水=スプーン1杯以下

いい?

地球の水をバケツ1杯分だとすると、
ヨシトたち人間が使える水はスプーン1杯にもならないんだよ!

- ぼく 僕は、いつもいっぱい水を使ってるよ。そんなの、うそでしょ?
- ホント! ずっと昔から地球にある水の量なんて変わってないんだから。
- …何でそんなこと知ってるんだ?



エッペン

だって、私、
ずっと水と一緒に地球を
巡ってるんだもん。



私がどうやって暮らしてるが
教えてあげるね!

うみ
海からは
水蒸気になって
空に行くの!

私、川が一番好き!
最後は海に
出ちゃうんだけどね。

くも
雲になったら
かぜの
風に乗って
色んなところ
に行けるんだ!

あめ
雨や雪になって
地上に降りて
いくよ!

地上は大変!
川に流れたり、
地下にしみこんだり
すぐに蒸発したり!

地下に潜ったら、
ゆっくりゆっくり
湧き出すのを待つ。

- エアリスって雲になったり、雨になったり地下にも潜ったりするんだ!!
- 私、水の妖精だもん! 世界中行けるし、楽しいよ!
- 世界中!! いいなあ。
- 世界中もいいけど、実は私、日本に来てすごく嬉しいんだ!
- どうして?

だって、日本の川は
すっごくきれいだから!
世界には、汚れてる川だって
いっぱいあるの。



そうなの?



エアリスの思い出

エアリスは前にも日本に来たんだって。

仲間もいっぱいいて、楽しかったなあ。かくれんぼしたり、川に潜ったりして遊んだの。お魚もたくさんいたわ。

…(妖精っていっぱいいるのか)

そうそう！忘れちゃいけないのが、私たち妖精の親友！

きれいな森とバクちゃんたち！

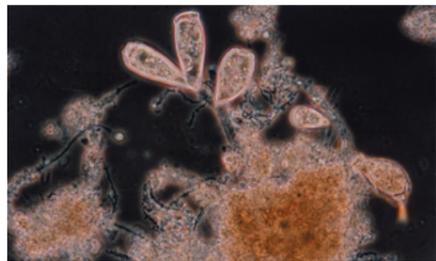
…バクちゃんって何だ？



バクちゃんはバクテリア！森とバクちゃんが川をきれいにしてくれるんだ！



森の土はスポンジみたいになって、雨水をいっぱい貯えるの！川に湧き出すまでの間に土が水の汚れをとってくれるんだ！！



※バクテリアは水の汚れを分解してくれる目に見えないくらい小さな微生物。海の中にも、土の中にも数え切れないくらいいるのよ！

へえー。

ふふふ。ヨシも森とバクちゃんに感謝してよね！

でもさ、うちの近くの川は、そんなにきれいじゃないよ。

うそだあ。日本の川はきれいに決まってるよ！

そっかなあ？魚だって、あんまり見ないぞ。

そんなことない！よし、今から見に行こう！

※注釈 バクテリアは細菌ともいわれ、汚れを分解する以外にも様々な種類があります。ヨーグルトやチーズをつくる乳酸菌、納豆をつくる納豆菌、病気の原因になる細菌などもバクテリアの一種です。

!!

ガーン

ちよっと、ちよっと、何これ？ゴミ？どうして川にゴミが浮いてるのヨ！



こっちはにごってる

ほらね

エ、エアリス…？

わ、私、ちょっと調べてくる…。



エアリス～

ビューン!!



いつからこんなに汚れたのよ!!

この川、いつもこんな感じなんだけど…。

前に来たときは、こんなことなかった！

そんなにひどいのか…。

私の仲間たちもいない…。どうして…こんなに汚れて…うっ、うっ…。

川の水と水道の水



エアリスどこ行っちゃったんだろ...

ねえ！お父さん。
家の近くに川あるじゃん。
あの川すっごく汚れてるんでしょ？

ん、どうした？あわてて。

たしか、水道の水って川から来てるんだよね？※
だ、大丈夫なの？



なに
何いってるんだヨシト。
水道の水はもっと上流から引いてるし、
浄水場できれいにしてるだろ？



水道水がとどくまで

配水池

浄水場

ダム

川

海

学校や会社

家

配水管

そっかあ、よかった！
でも前はあんなに汚れた川、日本にはなかったんだって。

いつの話なんだ？
そりゃ、江戸時代くらいまでだったらそうだったかもな。
信濃川じゃ、河口の水をお茶にできたらしいし。それに、
外国の船乗りたちの間じゃ、「日本の水は赤道を越えても
腐らない」って有名だったんだぞ。

マジで!?

そこまできれいな川だったのか
(エアリスが気に入るわけだ...)



でもな、その頃は水道がない時代だからな。
川の水を使うか、地下水、
つまり井戸の水を使うしかなかったんだよ。



じゃあ、シャワーは？トイレは？
どうしてたの？

ははっ、シャワーなんてないよ。
それに、おしっこかはおためておいて、
畑の肥料に使ってたんだ。

うわっ、何か汚そう...

そんな顔するな。
畑で作ったものを食べて、おしっこや食べ残しは土に戻す。
だから、ゴミも少なくて自然も汚さない。
昔の人は工夫してたんだよ。



...でも、やっぱりトイレは
今の方がいいなあ。
シャワーだって無いと嫌だし。



わっ、エアリス！よかった！
もう帰ってこないのかと思ってた！



どうして川が汚れたのがわかったわよ!!



※
注釈

日本の水道では、約8割が川、約2割が地下水などの水を使っています。

川の汚れは僕のせい?

エアリスは川の魚やバクちゃん、
森の木や植物たちから色々聞いてきたらしい。

川が汚れたのはヨシトにも関係があるの!
よく聞いてよね!!

まずね、昔も今も、人間が使った水は、最後に川へ返っていくの。

でも、昔は人口が少なかったから、使う水の量も川に返す水の量も少なかったんだ。
だからバクちゃんたちも川をきれいにできたの。

それに、昔は水道がなくて水を使うのも一苦労だったから、
みんな水を水神様として大切にして、川を汚さないように気をつけていたの。

でも、人口は増えるし、水道が普及して便利になってきたら、
みんな水の大切さも忘れて、汚れた水を平気で川に流すようになったんだ。
それに工場ができたから、その排水も川に流れていってね。



結局、多くの家から多くの汚れた水が川に流れ込むようになって、
バクちゃんたちだけじゃきれいにできないくらい川が汚れちゃったんだ…。

…これって、人間のせい?

当然でしょ!!

だからって、僕に怒らなくてもいいじゃん!
だいたい僕は、汚れた水を川に流したりしてない!

本当にそう? ヨシトは台所使わないの?

お皿についた油とか、そのまま流したことない?

あるけど、そんなのちょっとじゃん。



その「ちょっと」が大変なことになるの!!
こんなに水が豊かな国なのに… 私、ゆるせない!!

な、なんだよ。

スプーン1杯の油を魚が住めるまで薄めるために、
一体、いくら水が必要になると思ってるの?

知らないよ。どうせ、バケツ1杯くらいでしょ。

お風呂が1b杯分。

えっ?

わかる?

汚れた水を薄めるのがどれだけ大変か。

スプーン1杯の油 にも必要!

お風呂1b杯分



お風呂 = 1杯300リットル

しょうゆやみそ汁だと?	量	杯数
しょうゆ 大さじ1杯	1杯	1.4杯
みそ汁 おわん1杯	1杯	4.3杯
牛乳 コップ1杯	10杯	16.8杯
マヨネーズ 大さじ1杯	10杯	14杯

ヨシトたち人間にとっては、ちょっとの汚れでも、
お魚たちにとっては、ちょっとじゃないの。

こ、このまま台所に汚れた水を流しつづけたら…。

そうだよ。私たち妖精だって、
油なんてかぶったら、死んじゃうんだから!

…う、う。

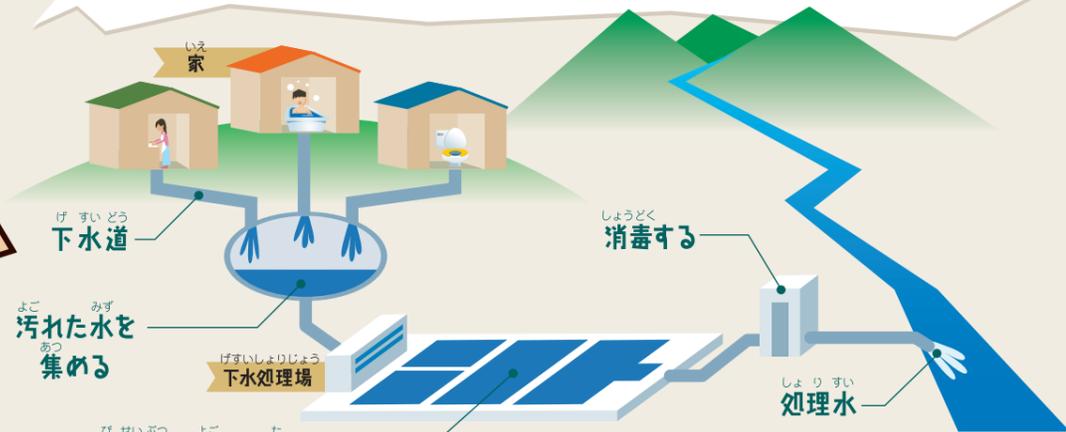


僕たちが忘れてしていること



エアリス!
ちょっと聞いて!

僕、調べてきた。
台所やトイレの汚れた水は、
下水処理場できれいにしてるんだけど…。



微生物に汚れを食べさせる
ここでバクちゃんたちが大活躍してるんだ!!



それに、下水道って、色々な役割があるんだ。
まだ整備されていないところもあるみたいだけど*。



初めはどぶ川をなくし、悪臭を防いだり、伝染病の原因になる蚊やハエの発生を防ぐために作ったんだ。

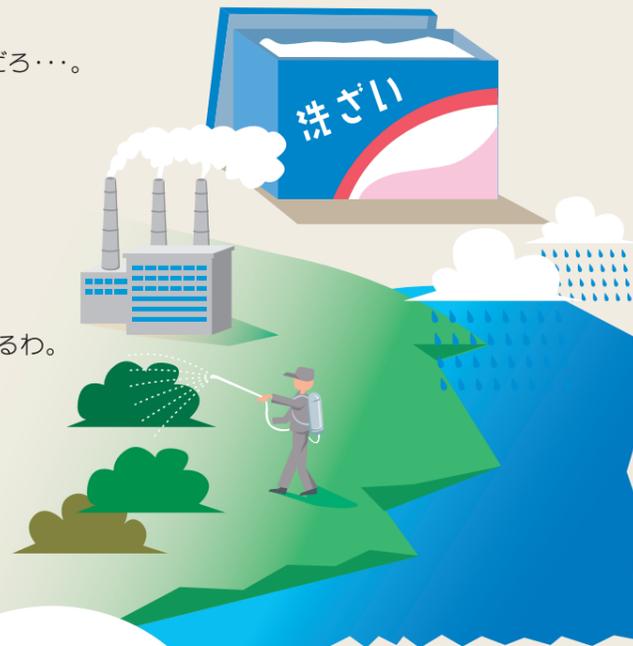


大雨が降ったとき、流れる川がなかったら家の中に水が入ってくる。下水道はそれも防いでるんだ。



そして一番重要なのが川や海をきれいに保つこと。そのために、下水処理場を作ったんだ。

- ねえ、エアリス。下水処理場があるのに、どうして川は汚れてるんだろ…。
- 下水処理をしても、汚れた水は、元どおりに戻らないからだよ…。
- そ、そうなのか…。でも、どうして…。
- 農薬とか合成洗剤とか、なかなかきれいにならない汚れもあるの。そういう汚れは、土の中や海、空にまで広がっているわ。土や空気が汚れていたら、水も汚れちゃう。水は色んなところを巡ってるでしょ？汚れた水も色んなところを巡っていくんだよ。動物や植物のところ、私たち妖精のところにも、そして、いつか人間たちのところにもね。
- ……。



ねえ、ヨント。よく考えてほしいの…。

ヨントたち人間は、お料理したり、洗濯したり、トイレを使ったり…
毎日、当たり前のように水を使ってる。

それなのに、自分たちが使った水が、どこに流れていくのかも気にしてないんだよ。
自分たちが使った水が汚れていても、「じゃあ、きれいにすればいい」って思ってる。

本当にそれでいいの？

水は人間たちだけのものなの？



*注釈
ちゅうしゃく

おすいしよりにんこうふきゅうりつ 93.3%です。(資料:国土交通省調べ)

エアリスとまた会う日まで

エアリスがうちに来てから、
あっという間に一日が過ぎた…。



そろそろ、さよならだね。ヨシト。

えっ、エアリス、行っちゃうの？

川だってあんなに汚れてたしさ…。
私、日本に来て、さみしくなっちゃった。

……。

私たちが水の妖精は、
ほんとうに、水のきれいなところじゃないと住めないの。
…私、ちょっと怖いんだ。
仲間たちは、どんどん少なくなってるし。
このままだと、私が住むところもなくなっちゃうのかな…。



ねえ、エアリス。聞いて。

僕、これからは、台所でも、学校でも、
どこに行ってもエアリスのこと思い出して、
水を汚したり、無駄使いしたりしない。
水が地球を巡ってることも、水が地球に住む
生き物みんなのものだってことも忘れない。
そしたらさ、エアリスが住むところだって、
きっとなくならないと思うんだ。



ヨシト…。

エアリス、また、会える？

聞かないで、わかんないよオ…。

でも、エアリス、僕のこと忘れないでね。
エアリスとまた会えるように、
僕は頑張るからさ！



キラッ ハイハイ

また会えるよね！



僕の話は、これで終わり。
そうそう、あの日から僕は、
エアリスとまた会えるように、
色々なこと頑張ってるんだ。



そして、僕は、いつもお父さんの言葉を思い出してる。

「妖精なんかいない」と、誰かがいうたびに、
どこかで小さな妖精がひとり死んでいく
～ジェームズ・M・バリ～

この言葉の意味が、わかるような気がしてきた。

